



春秋花鳥図屏風下絵写 (右隻)

黎明館企画展

／創設150年記念／

玉里島津家資料展

令和3年

12/21 火

令和4年

3/6 日

会場

黎明館3階 企画展示室

《休館日》 12/27・12/31

1/1・1/2・1/11・1/17・1/24・1/25・1/31

2/7・2/14・2/21・2/25・2/28

【時間】 9時～18時 (入場は17時30分まで)

【料金】 常設展示と共通

一般 400円 (300円)

高校・大学生 250円 (150円)

小・中学生 150円 (80円)

※ () 内は20名以上の団体料金

※ 期間中、一部展示替えがあります。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催期間や関連イベントを変更または中止にする場合があります。

躍動する動物たちの姿に注目!



頼朝富士牧狩図屏風下絵写 (左隻)

御屏風下絵写

文化8 (1811) 年の第12回朝鮮通信使の返礼品として、幕府から朝鮮国王へ贈られた屏風10双の下絵写です。この時、海を渡った屏風は全て失われており、当館の資料だけが、その全容を伝えていています。お見逃しなく!!



展示資料約 70 点
そのほとんどが

初公開

玉里島津家は、幕末薩摩藩の指導者島津久光が、その功績を認められ、明治4(1871)年に新たに興じた家です。

玉里島津家創設 150 年という記念すべき年にあたり、本展では、初公開となる資料を中心に、雅やかな美術品・調度品、歴史を語る古文書など、同家資料のもつ魅力を様々な角度から紹介します。



黒漆塗金蒔絵丸十紋櫃

文書箱として使われていました。



形替り文庫

10代藩主島津斉興所用。箱の内側でこの豪華さ！



(蓋)



二ノ丸奥日記

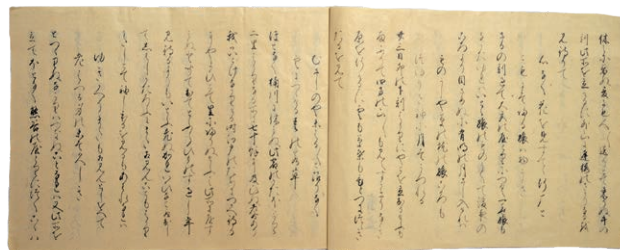
文久3年(1863)年・慶応2(1866)年・同3年の日記。
島津家ゆかりの女性の姿を紹介します。



もり消息

島津久光宛 (明治10(1877)年)

激動の時代に変わりゆく大名家の女性のくらしがわかります。



文化二年春帰国紀行

9代藩主島津斉宣の旅行記。旅の苦楽を和歌とともに綴っています。

関連イベント

□ 学芸講座「日誌等から見える玉里島津家の家政」

日時：令和4年1月23日(日) 13:30～15:00

講師：黎明館主任学芸専門員 新福 大健

会場：黎明館3階 講座室

□ 学芸講座「玉里島津家資料展解説講座」

日時：令和4年1月30日(日) 13:30～15:00

講師：黎明館学芸専門員 崎山 健文

会場：黎明館3階 講座室

※ 学芸講座はいずれも事前申込制です。往復ハガキに住所・氏名・電話番号をご記入の上、お申込みください。詳細は、ホームページをご確認ください。

※ 講座終了後、展示解説はありません。

□ 展示解説

① 1月15日(土) ② 2月5日(土) ③ 3月5日(土)
13:30～14:10

※ 要入館料、事前申込不要

企画展期間限定デザイン年間パスポート



販売期間

12/21(火) - 3/6(日)

一般 800円
高校・大学生 500円
小・中学生 300円

年間パスポートは発行から1年間の有効期間中、何度でも常設展をご覧いただけます。

アクセス



空港バス鹿兒島市内行き「市役所前」から徒歩10分。JR鹿兒島駅から徒歩15分。鹿兒島市電「市役所前」または「水族館口」から徒歩5分。鹿兒島市内巡迴観光バス「薩摩義士碑前」下車すぐ。無料駐車場あり(普通車125台 バス20台)